

株式会社街づくりまんぼう

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 5 年 6 月 5 日
-------	----------------

市所管部署	石巻市 産業部商工課
-------	------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社街づくりまんぼう		
法人所在地	石巻市 中瀬2番7号		
設立年月日	平成	13	年 2 月 5 日
代表者職・氏名	代表取締役社長 木村 仁		

設立目的・経過	
「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。	

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
- (4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %
			個人	900 千円	1.4 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	2	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	12	9	9
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	14	10	10
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	23	24	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	23	24	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力を高め石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。

(事業方針)

1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。
2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。
3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期
石ノ森萬画館 有料観覧者数	人	目標計画	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	44,744	73,366			
目標・指標の説明			「石巻マンガタンミュージアム構想」に則り市街地の諸施設と連携した企画展を行い、来街者の増加に努める。さらに石ノ森萬画館では動員力のある企画展やイベントを実施し、来館者数の増加へつなげる。				
目標未達の場合の要因分析			上半期、新型コロナウイルス感染症の影響により、人流が制限された。下半期はコロナ禍以前の集客数を動員したが、上半期の影響が大きく目標とする集客数に及ばなかった。				

目標項目・指標	単位		令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期
グッズ販売金額	千円	目標計画	85,000	86,000	87,000	88,000	89,000
		実績	62,845	101,524			
目標・指標の説明			石ノ森萬画館の店頭販売上額の増加に加え、通信販売や外部での委託販売強化に努める。また、マーケティングをした上で石ノ森萬画館で開催する企画展にあわせた商品の開発や選定を行い、売上を増加させる。				
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	企画展毎の客層に合わせた告知展開に加え、数多くのイベントを企画・開催し、SNSでの発信やマスメディア等を介しての情報発信が集客に結び付いた。	石ノ森萬画館単体の企画ではなく、まちなかの飲食店などを含めた企画を実施することで、まちを含めたボリューム感を発信し、動員を図った。	前々期は新型コロナウイルス感染症の影響により集客が思うようにいかなかった。前期は感染症が落ち着いたタイミングで自治体の旅行支援策などを積極的に取り入れ集客を図った。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館のみの企画展ではなく、市街地の店舗とも協力することで石巻市への来街者の増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興 推進事業	堤防一体空間の利活用や商店街の方々とのイベントの開催、各種検討会等を行った。また、橋通りにある旧石巻市復興まちづくり情報交流館中央館を石巻市より借用し、活用に向け準備を進めてきた。	堤防一体空間での催事は市民にも認識され、コロナ禍ながらも賑わいを創出することができた。また、自治体や地域住民の方々との今後の市街地再生計画について意見を出し合い、未来ビジョンとしてまとめた。	前々期では同様に新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた適疎な催事を行った。
事業の公共性、 公益性	「まち全体がミュージアム」とする『石巻マンガタンミュージアム構想』の考え方のもと、地域の方々や関連機関と連携を図って様々な企画を行い来街者を増やしていきたい。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表 (B/S)	借方（科目）	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	流動資産	150,893,669	160,587,469	9,693,800	151,476,699	▲ 9,110,770
	うち 現金・預金	99,571,519	123,520,008	23,948,489	112,960,513	▲ 10,559,495
	固定資産	16,018,884	18,011,994	1,993,110	23,924,256	5,912,262
	有形固定資産	13,589,764	15,051,793	1,462,029	20,657,145	5,605,352
	無形固定資産	20,000	204,021	184,021	163,871	▲ 40,150
	投資その他の資産	2,409,120	2,756,180	347,060	3,103,240	347,060
	資産の合計	166,912,553	178,599,463	11,686,910	175,400,955	▲ 3,198,508
	貸方（科目）	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	流動負債	29,218,921	48,665,792	19,446,871	42,229,723	▲ 6,436,069
	うち 短期借入金	12,000,000	12,000,000	0	2,000,000	▲ 10,000,000
	固定負債	14,000,000	2,000,000	▲ 12,000,000	0	▲ 2,000,000
	うち 長期借入金	14,000,000	2,000,000	▲ 12,000,000	0	▲ 2,000,000
	負債合計	43,218,921	50,665,792	7,446,871	42,229,723	▲ 8,436,069
	純資産	123,693,632	127,933,671	4,240,039	133,171,232	5,237,561
	うち 資本金	63,000,000	63,000,000	0	63,000,000	0
	うち 資本剰余金			0		0
	うち 利益剰余金	79,043,632	83,283,671	4,240,039	88,521,232	5,237,561
	うち その他	▲ 18,350,000	▲ 18,350,000	0	▲ 18,350,000	0
	負債・純資産の部合計	166,912,553	178,599,463	11,686,910	175,400,955	▲ 3,198,508

損益計算書 (P/L)	科目	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	売上高	189,964,019	267,007,721	77,043,702	282,039,485	15,031,764
	売上原価	144,207,058	161,360,639	17,153,581	202,717,505	41,356,866
	売上利益	45,756,961	105,647,082	59,890,121	79,321,980	▲ 26,325,102
	販売費・一般管理費	69,622,509	103,503,404	33,880,895	74,990,166	▲ 28,513,238
	営業利益	▲ 23,865,548	2,143,678	26,009,226	4,331,814	2,188,136
	営業外収益	11,094,858	2,494,859	▲ 8,599,999	1,079,553	▲ 1,415,306
	営業外費用	199,743	254,189	54,446	99,689	▲ 154,500
	経常利益	▲ 12,970,433	4,384,348	17,354,781	5,311,678	927,330
	特別利益	4,448,425	41,000	▲ 4,407,425	111,260	70,260
	特別損失	2	0	▲ 2	0	0
	税引前当期純利益	▲ 8,522,010	4,425,348	12,947,358	5,422,938	997,590
	法人税等	185,509	185,309	▲ 200	185,377	68
当期純利益	▲ 8,707,519	4,240,039	12,947,558	5,237,561	997,522	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 17,867,298	39,998,679	57,865,977	8,719,751	▲ 31,278,928
税引前当期純利益	▲ 8,522,010	4,425,348	12,947,358	5,422,938	997,590
減価償却費	2,753,283	2,057,080	▲ 696,203	1,366,984	▲ 690,096
有形固定資産売却益	▲ 21,999	0	21,999	0	0
有形固定資産除却損	2	0	▲ 2	0	0
受取利息及び受取配当金	▲ 3,254	▲ 1,958	1,296	▲ 2,393	▲ 435
雑収入・義援金及び助成金	▲ 11,243,030	▲ 2,493,311	8,749,719	▲ 1,188,420	1,304,891
その他資産の売却益	▲ 4,275,000	0	4,275,000	0	0
支払利息	183,743	253,689	69,946	97,689	▲ 156,000
雑損失	16,000	500	▲ 15,500	2,000	1,500
売上債権の増加額（減少額）	2,438,186	7,234,061	4,795,875	▲ 4,200,961	▲ 11,435,022
棚卸資産の増加額（減少額）	2,207,603	2,909,786	702,183	▲ 902,967	▲ 3,812,753
仕入債務の増加額（減少額）	▲ 470,858	▲ 244,815	226,043	11,746,202	11,991,017
その他流動資産の増加額（減少額）	▲ 725,515	4,110,842	4,836,357	3,655,203	▲ 455,639
その他流動負債の増加額（減少額）	▲ 5,474,781	19,599,186	25,073,967	▲ 8,182,271	▲ 27,781,457
利息及び配当金の受取額	3,254	1,958	▲ 1,296	2,393	435
雑収入・義援金及び助成金	11,243,030	2,493,311	▲ 8,749,719	1,188,420	▲ 1,304,891
利息の支払額	▲ 183,743	▲ 253,689	▲ 69,946	▲ 97,689	156,000
雑損失	▲ 16,000	▲ 500	15,500	▲ 2,000	▲ 1,500
法人税等の支払額	▲ 5,776,209	▲ 92,809	5,683,400	▲ 185,377	▲ 92,568
			0		0
投資活動によるキャッシュフロー	4,920,218	▲ 4,050,190	▲ 8,970,408	▲ 7,279,246	▲ 3,229,056
有形固定資産の取得による支出	▲ 7,786,722	▲ 3,502,380	4,284,342	▲ 6,932,186	▲ 3,429,806
無形固定資産の取得による支出	0	▲ 200,750	▲ 200,750	0	200,750
有形固定資産の減少額	3	0	▲ 3	0	0
有形固定資産の売却	21,999	0	▲ 21,999	0	0
有形固定資産の除却	▲ 2	0	2	0	0
その他資産の売却益	4,275,000	0	▲ 4,275,000	0	0
その他の投資資産	8,409,940	▲ 347,060	▲ 8,757,000	▲ 347,060	0
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	26,000,000	▲ 12,000,000	▲ 38,000,000	▲ 12,000,000	0
株式の発行による収入	0	0	0	0	0
資金の借入による収入	30,000,000	0	▲ 30,000,000	0	0
借入金の返済による支出	▲ 4,000,000	▲ 12,000,000	▲ 8,000,000	▲ 12,000,000	0
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	13,052,920	23,948,489	10,895,569	▲ 10,559,495	▲ 34,507,984
現金及び現金同等物期首残高	86,518,599	99,571,519	13,052,920	123,520,008	23,948,489
現金及び現金同等物期末残高	99,571,519	123,520,008	23,948,489	112,960,513	▲ 10,559,495

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減	
補助金（交付金・助成金・負担金）	2,188,384	4,863,959	2,675,575	2,343,403	▲ 2,520,556	
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	2,188,384	4,863,959	2,675,575	1,893,403	▲ 2,970,556	
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0	450,000	450,000	
委託料及び指定管理料	89,192,040	100,298,000	11,105,960	65,770,258	▲ 34,527,742	
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0	
短期借入金			0		0	
長期借入金			0		0	
出資・出捐（期末時）	30,000,000	30,000,000	0	30,000,000	0	
債務保証額（期末残高）			0		0	
損失補償額（期末残高）			0		0	
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）	萬画館の一部	1,341,733	1,286,397	▲ 55,336	1,280,169	▲ 6,228
	// 4・5月休館分	223,622		▲ 223,622		0
	市役所5階	6,277	6,267	▲ 10	6,220	▲ 47

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

現金及び預金に関しては、短期借入金（一年以内返済長期借入金）を返済したため、10,559千円減少した。

また、有形固定資産に関しては、仮称マンガベースの改装等により、5,605千円増加している。

今期における自己資本比率は、75.9%で経営は安定しており、流動比率は、358.7%で十分な支払い能力があると判断できる。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因	
流動資産	現金及び預金	10,559千円の減少	一年以内返済長期借入金の返済による減少
固定資産	有形固定資産	5,605千円の増加	仮称マンガベースの改装等による増加
流動負債	買掛金	11,746千円の減少	企画展（十二国記）のグッズ仕入による増加

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

新型コロナウイルス感染症の緩和及び萬画館企画展が好評であったため、来館者が増加し、入場料収入が27,126千円増加した。

このため、当期純利益は、5,237千円となり、前期と比較し997千円増加した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因	
純売上高	入場料収入	27,126千円の増加	新型コロナウイルス感染症の緩和による増加
	委託料	24,487千円の減少	委託事業がなかったことによる減少
販売及び一般管理費	事業運営負担金	5,166千円の減少	アニメージュジブリ展の開催がなかったことによる減少

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは、8,719千円で、前期と比較して31,278千円減少しており、主な要因としては、借入金の返済によるものである。

また、投資活動によるキャッシュフローは、▲7,279千円で、仮称マンガベースの改装等により、前期と比較して3,229千円減少している。

現金及び現金同等物期末残高は、前期と比較して10,559千円減少であった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目		変動内容	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	売上債権の増加額(減少額)	11,435千円減少	収入金等の増加による減少
	仕入債権の増加額(減少額)	11,991千円増加	グッズ仕入の計上による増加
	その他流動負債の増加額(減少額)	27,781千円減少	短期・長期借入金の返済、仮受金の減少
投資活動によるキャッシュフロー	有形固定資産の取得による支出	3,429千円減少	仮称マンガベースの改装等による減少

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途
街なか文化・芸術活動活性化助成金(3年度分)	43,000	石巻在住のアーティストにより制作された壁画を紹介するパネルを制作し、中心市街地に展示
イベント開催事業支援金	450,473	令和4年10月に北上川の堤防(かわまちオープンパーク)を会場に釣り大会を実施 近隣飲食店の協力のもと、釣れた魚を天ぷらにして食べる企画
イベント開催事業支援金	699,930	令和5年1～2月に市内店舗のスタッフが講師となり、少人数制のゼミを開講
イベント開催事業支援金	700,000	令和5年2月に石巻観光大使でアニソン歌手の遠藤正明氏らによるアニソンフェスを開催
高圧電力利用施設指定管理事業者電気料金支援金	450,000	電気料高騰に伴う電気料支援金

情報公開シートⅡ補足資料

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
マンガロードモニュメント 修繕委託	627,000	サイボーグ003モニュメントの修繕塗装 (石巻駅前)
石巻市マンガロードWeb サイト管理運営委託業務	1,782,000	石巻市中心市街地商店街（石巻マンガロード）の 店舗情報やイベント情報等を発信するサイトの 運営
中央地区堤防一体空間 エリアマネジメント業務	1,969,000	旧北上川堤防一体空間におけるキッチンカー等の 出店やイベント利用に係る管理・集客イベントの 企画
かわまちエリアの都市再生 に係る社会実験業務	4,010,600	石巻市中心市街地（かわまちエリア）のうち、 川沿いエリアについての未来ビジョンの策定と そのために必要な社会実験の実施
石巻市マンガロード新名物 創出サポート業務	990,000	市内事業者の企画するマンガを生かした商品開発 についてコンサルティング
石ノ森萬画館指定管理料	55,000,000 1,550,000 ▲ 158,342	石ノ森萬画館運営 〃 (令和4年度追加光熱費) 〃 (令和3年度管理料清算返金)

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由
萬画館の一部使用	1,280,169	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当
市役所5階自販機地代	6,220	

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

令和4年度の萬画館の有料観覧者数は基準値には届かなかったものの、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に大きく近づいた。令和5年度にはコロナウイルスの位置付けが5類に移行され、萬画館への来訪者数も増加することが予想される。魅力的なイベントなどの開催を通して、交流人口の拡大につながることを期待する。

物販売上については、好調だった店頭でのグッズ売上や喫茶売上を維持するとともに、通信販売なども強化し売上増につなげてほしい。

（2）主要事業の成果、課題

「十二国記」山田章博原画展などの様々な企画展や、それらと連動したコラボメニューなどによって集客性を高め、これまで以上の賑わいが生まれた。

今後は、かわまちエリアだけでなく広く街を歩いてもらえるよう、引き続き中心市街地への周遊促進の課題に取り組む必要があると考える。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す自己資本比率は75.9%であり、良好な状態である。
支払い能力の安全性を示す流動比率（流動資産/流動負債）は358.7%であり、望ましいといわれる200%を超えているため、支払い能力の安全性は高い。
したがって、財務状況に特段の問題はないといえる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高は令和元年度の水準には至っていないが、徐々に回復してきているため、引き続き訪問客の増加に努めてほしい。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは8,719千円であり、令和3年度と比較して31,278千円減少している。減少の要因としては、借入金の返済などが挙げられる。
投資活動によるキャッシュフローは▲7,279千円であり、令和3年度と比べて3,229千円減少している。主な要因としては、仮称マンガベースの改装等がある。

(4) 市による財政・金融支援等

特になし。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

今後も各種イベントや企画展、積極的な情報発信等を通して県内外からの訪問客を増やし、賑わいの創出につなげてほしい。さらに、令和5年度は旧石巻市復興まちづくり情報交流館中央館を活用した漫画家やイラストレーター育成など新たな事業展開も予定されているため、マンガの街としての魅力向上にも期待する。